

# 低炭素社会の実現に向けて

## ～廃棄物処理の選択肢～

廃棄物処理の目的は、生活環境の保全・公衆衛生の向上を図ることにあります。さらに資源の保全・環境教育・エネルギー問題の解決等さまざまな効果も期待されています。清掃工場についても、防災拠点・エネルギー供給拠点・温水プール等憩いの場や健康増進まで色々な役割を果たしています。自治体におけるそのような目的や期待の違いにより、我が国の自治体の廃棄物処理は、分別の仕方や、処理方式・処理技術・施設整備の内容はまちまちであり、処理コストも住民への負担も大きな違いがあります。廃棄物処理に、無駄なコストがかかっていないのか、もし改善するために、廃棄物の収集から最終処分まで廃棄物処理のライフサイクル全体で、環境面・資源面・経済面等を評価するライフ・サイクル・アセスメント(LCA)という手法があります。今回のシンポジウムは、地域の特性に応じた廃棄物処理の選択肢、たとえば廃プラスチック等を物質回収にするのかエネルギー回収にするのか、施設の更新時に基幹的設備改良をどのように選択をするのか、など自治体の廃棄物処理の選択事例を紹介しながら皆さまと考えることを企画しました。

**大阪会場** **11/15** (金)  
13:30-16:30

国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008 大阪市中央区大手前 2-1-2 国民會館住友生命ビル 12 階

**東京会場** **11/28** (木)  
13:30-16:30

都道府県会館 101大会議室

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3

**定員** 各会場150名(座席の都合上、定員になり次第締め切りさせていただきます。)

**参加費** 下記協賛団体、協力団体の会員：5,000円、非会員：10,000円、自治体職員：4,000円、学生：3,000円

**主催**：鳥取環境大学、(株)廃棄物工学研究所 後援：環境省(申請中)

**協賛**：(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会

### プログラム

#### 開会挨拶・シンポジウムの企画趣旨

13:30 鳥取環境大学長 古澤 巖  
鳥取環境大学 サステイナビリティ研究所長 田中 勝

#### 休憩

15:00

#### 基調講演：処理の選択肢

～物質回収とエネルギー回収～

13:50 環境省 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課長 山本 昌宏

#### 地方行政解説：自治体の選択事例

プラスチックごみをどうするか、生ごみをどうするか

15:10 京都市環境政策局適正処理施設部施設整備担当課長 山田 一男

15:30 横浜市資源循環局総務部資源政策課調査等担当課長 松野 一郎

#### 特別講演：廃棄物処理へのライフ・サイクル・アセスメント(LCA)適用事例

14:10 元(独)産業技術総合研究所ライフサイクルアセスメントセンター長  
工学院大学教授 稲葉 敦

#### パネルディスカッション

低炭素社会の実現に向けて～廃棄物処理の選択肢～

15:50 コーディネータ：田中 勝  
パネリスト：上記講演者

#### 技術解説：施設更新と基幹的設備改良

14:40 (一社)日本環境衛生施設工業会技術委員会  
宇野 晋委員長(大阪会場)、近藤 守副委員長(東京会場)

#### 閉会

16:30

#### お申し込み方法

- ホームページ (<http://www.riswme.co.jp>) より参加申込用紙をダウンロードし FAX 086-239-5303 にて、お申し込みください。
- 【E-mailでのお申込】 [info@riswme.co.jp](mailto:info@riswme.co.jp) のメールでも受付しております。  
※メールでのお申込の際は、裏面に記載してある申込内容をご記入のうえ送信をお願いします。

#### お問い合わせ先

運営事務局 (株) 廃棄物工学研究所 (担当: 大畑) Tel/Fax 086-239-5303